

《令和元年度 上下水道部 組織目標》

◆目標管理者

部長 打田 敏之

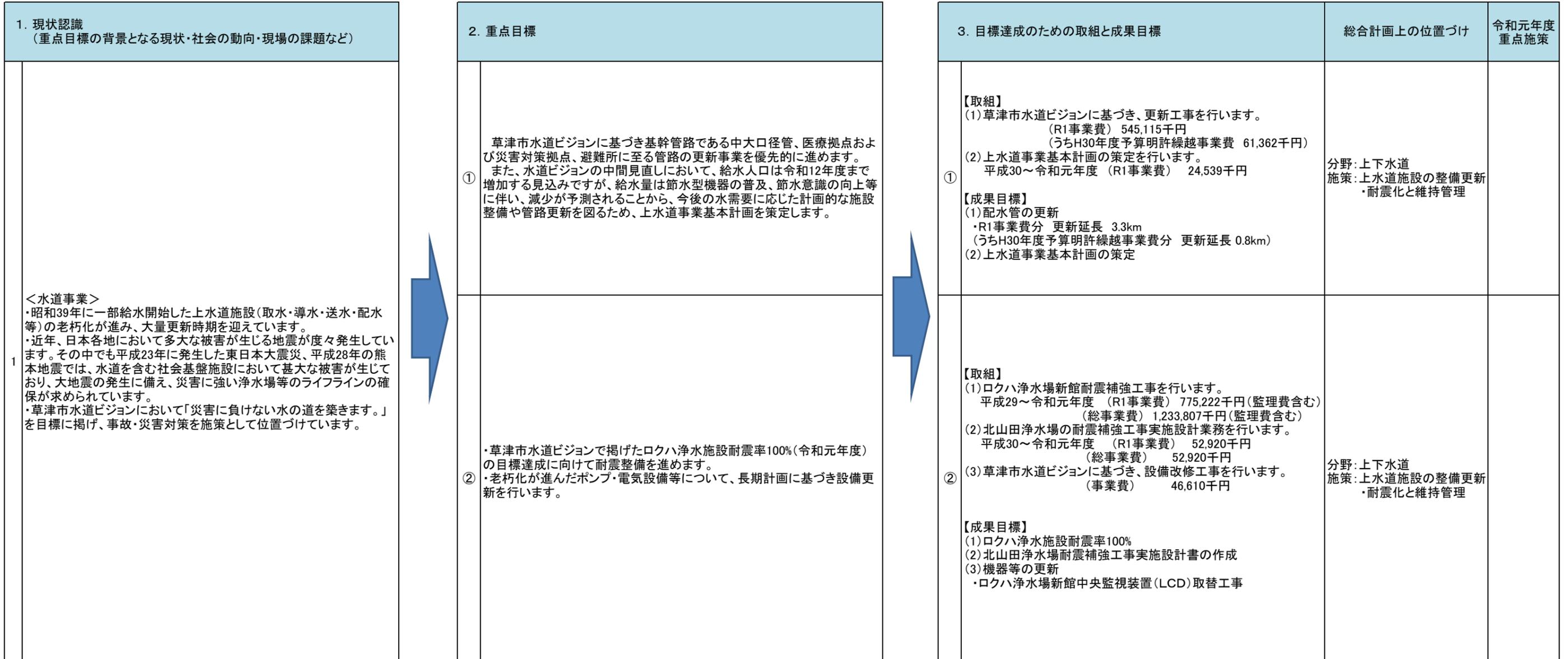
◆部局の役割・目標像

市民のみなさまの安心・安全で快適な暮らしのために

- ◆安心・安全で安定した水の供給に努めます。
 - ・「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、適切な上水道施設の整備や維持管理を行います。
 - ・災害に強いライフラインの確保のため、計画的に耐震化を図り、施設の更新に取り組めます。
- ◆下水道を通じ、豊かな琵琶湖の自然を守り、快適な暮らしを支えます。
 - ・下水道施設の適切な維持管理を行い、汚水の適正処理に努めます。
 - ・下水道整備も概成し、今後、未水洗化世帯の下水道への早期接続を促し、水洗化率の向上に努めます。
 - ・災害に強いライフライン確保のため、耐震化・長寿命化を考慮した施設の更新に取り組めます。
- ◆信頼を高める安定した経営に努めます。
 - ・上下水道事業のサービス向上に努めるとともに、事業内容や経営状況の情報発信を効果的にを行います。
 - ・上下水道事業を安定的に継続するため、健全な事業運営に努めます。

◆職員数および当初予算規模

| 所属 | 職員数(人) | | | | | | 当初予算規模(千円) | | |
|-------------|--------|----|-----|----|-----|----|------------|-----------|-----------|
| | 正規 | 特任 | 再任用 | 嘱託 | 臨時 | 総計 | 歳出(職員費を除く) | 特定財源 | 一般財源 |
| 経営層(部長、副部長) | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | - | - | - |
| 【水道事業】 | | | | | | | | | |
| 上下水道総務課 | 4 | 0 | 0.5 | 1 | 0.5 | 6 | 1,861,801 | 349,178 | 1,512,623 |
| 給排水課 | 3 | 0 | 1 | 0 | 2 | 6 | 4,721 | 1,835 | 2,886 |
| 上下水道施設課 | 8 | 0 | 0 | 1 | 1 | 10 | 944,538 | 356,969 | 587,569 |
| 北山田浄水場 | 8 | 0 | 0 | 1 | 1 | 10 | 1,510,113 | 503,100 | 1,007,013 |
| ロクハ浄水場 | 8 | 0 | 2 | 2 | 1 | 13 | | | |
| 【下水道事業】 | | | | | | | | | |
| 上下水道総務課 | 4 | 0 | 0.5 | 1 | 0.5 | 6 | 5,344,872 | 2,457,345 | 2,887,527 |
| 給排水課 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 5 | 9,578 | 261 | 9,317 |
| 上下水道施設課 | 7 | 0 | 0 | 1 | 1 | 9 | 1,274,973 | 1,073,608 | 201,365 |
| 合計 | 46 | 0 | 4 | 9 | 9 | 68 | 10,950,596 | 4,742,296 | 6,208,300 |



| 1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など) | 2. 重点目標 | | 総合計画上の位置づけ | 令和元年度 重点施策 |
|---|--|---|--|---------------|
| <p>2 <水道事業(経営)> ・節水型社会の進行により使用料収入の大幅な伸びは期待できない状況です。 ・平成27年度に中間見直しを行った水道ビジョンおよび水道事業経営計画(平成23年度～令和3年度)に基づき事業展開を図っています。 ・事業開始から50年が経過し、老朽化した水道管の更新と併せて、震災等に備えたライフラインとしての機能確保が求められます。 ・水需要の減少など水道事業を取り巻く環境の変化に注視し、引き続き事業の推進と安定した事業経営を続けていくことが必要です。</p> | <p>3 <水道事業(経営)> 老朽水道管の更新の順次実施、震災等に備えたライフラインとしての機能確保を考慮した整備・更新・改修を進めながら、安定的な水道水の供給と健全な経営を継続して行えるよう、水道事業経営計画に基づき、水道料金の10%還元を令和3年度末まで実施します。また、経営状況の確認を行い、長期的な視点で公営企業としての健全経営を目指し、経営基盤の強化に努めます。</p> | <p>3 【取組】 ・水道事業の経営状況を明確に把握し、水道事業経営計画の進捗管理を行います。 ・令和4年度の次期水道ビジョン・経営計画の策定に向け、令和2年度から本格着手となりますが、令和元年度では、委託業者選定に向けての事前準備や内容の検討等を行います。</p> <p>【成果目標】 事業計画の目標達成状況や経営状況の確認分析および今後の展開について、上下水道事業運営委員会へ報告し、議事内容についてホームページで公表を行います。</p> | <p>分野:上下水道 施策:上下水道事業の健全経営</p> | |
| | <p>4 下水道施設の老朽化が進んでおり、計画的に施設の改築更新を進めます。</p> | <p>4 【取組】 (1)マンホール蓋の交換を行います。(事業費) 103,000千円 (2)施設の点検・調査、改築更新を行います。(事業費) 54,520千円</p> <p>【成果目標】 (1)マンホール蓋の交換 ・蓋交換 332箇所 (2)施設の更新、カメラ調査 ・マンホールポンプ更新 12基 ・調査延長 8.5km</p> | <p>分野:上下水道 施策:下水道施設の整備更新 ・耐震化と維持管理</p> | |
| <p>3 <下水道事業(長寿命化、耐震化、農集排接続)> ・公共下水道の事業着手から40年以上が経過し、公共下水道施設の老朽化により、維持管理等にかかる費用は年々増大し、将来の下水道経営に甚大な影響を及ぼしかねない状況にあります。 ・大震災の発生に備え、災害に強いライフラインの確保が求められており、下水道施設の耐震化について市民意識が高まっています。 ・市内6地区の農業集落排水施設、処理場が供用開始後22年から30年が経過しており、施設の老朽化により維持管理費が増大し、使用料収入を上回っている状況です。</p> | <p>5 下水道耐震指針に基づき、大震災など大規模災害に強い下水道システムの構築を目指し、下水道施設の耐震対策を進めます。</p> | <p>5 【取組】 耐震対策の設計業務を行います。(事業費) 12,000千円</p> <p>【成果目標】 下水道総合地震対策設計業務の実施</p> | <p>分野:上下水道 施策:下水道施設の整備更新 ・耐震化と維持管理</p> | |
| | <p>6 処理場施設の老朽化等への対応や効率的な経営を行うため、市内6地区の農業集落排水の公共下水道への接続事業を進めます。 農業集落排水公共下水道接続事業 平成25～令和元年度</p> | <p>6 【取組】 公共下水道への接続に向けた年次計画に基づいた管渠敷設工事を行います。(事業費) 695,363千円 (うち平成30年度予算明許繰越事業費 89,963千円)</p> <p>【成果目標】 下水道管路の整備 ・R1事業費分 整備延長 2.3km (うちH30予算明許繰越事業費分 整備延長 0.3km)</p> | <p>分野:上下水道 施策:下水道施設の整備更新 ・耐震化と維持管理</p> | |
| <p>4 <下水道事業(経営)> ・事業着手から40年以上が経過し、普及もほぼ完了し、今後は老朽化施設の更新や効率的な維持管理に主眼をおいた事業運営が必要となっています。 ・草津市下水道事業第8期経営計画(平成29年度から令和3年度)に基づき事業展開を図っています。 ・下水道事業は利用者のみならずからの下水道使用料のほか、総務省の繰出基準の通知に基づき、環境保全の観点の大きい経費については一般会計からの繰入金により経営を行っています。 ・使用料収入はほぼ横ばい傾向となっていますが、下水道事業を取り巻く環境の変化に注視し、引き続き事業の推進と安定した事業経営を続けていくことが必要です。</p> | <p>7 <下水道事業(経営)> ・老朽化が進む施設の点検調査および耐震診断を実施し、施設の状況を把握した上で、老朽化と地震への対策を行うと同時に、集中して実施してきた初期投資の更新時期の平準化を目指します。 ・また、企業債残高は200億円を上回り、資金面では厳しい状況が続きますが、順調に減少する計画で進んでおり、下水道事業第8期経営計画の進捗確認により、長期的な視点で公営企業としての健全経営を目指し、経営基盤の強化に努めます。</p> | <p>7 【取組】 ・下水道事業の経営状況を明確に把握し、下水道事業経営計画の進捗管理を行います。 ・令和4年度には次期経営計画の策定に向け、令和2年度から本格着手となりますが、令和元年度では、委託業者選定に向けての事前準備や内容の検討等を行います。</p> <p>【成果目標】 事業計画の目標達成状況や経営状況の確認分析および今後の展開について、上下水道事業運営委員会へ報告し、議事内容についてホームページで公表を行います。</p> | <p>分野:上下水道 施策:下水道事業の健全経営</p> | |